

議会だより

東くしら

第134号

平成29年
8月10日発行

発行 鹿児島県東串良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)



中学生、大好きな牛と
夢ぶくらます

関連記事 P.20

- 農業委員7人が決まる・・・2
- 一般質問「津波対策等」・・・6
- 滞在型市民農園の取り組みを調査・・・12
- 消防活動と救命救急を訓練・・・17
- 池小3年、初めての議場見学・・・19

7人が決まる

平成29年第2回定例会は、6月9日から6月20日までの12日間の会期で開きました。

今定例会では、同意7件、報告2件、承認1件、補正予算4件、単行議案1件、陳情1件等を審議しました。(議案等に対する議員の賛否状況はP.5に掲載)

また、農業委員会委員の任命については、法律の改正により、町長提案となった初めての人事案件でした。(下段に写真掲載)

一般質問には、5人の議員が登壇し、執行部に質問を行いました。(関連記事P.6～P.10)

農業委員の任命

農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員は、町長が議会の同意を得て任命することとなり、議会は全会一致で同意しました。

本町では、昨年12月議会で「農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」の制定を決めました。

この条例により、農業委員の定数は7人、推進委員の定数は5人となっています。

推進委員については、推薦及び公募の者から農業委員会が総会で決めることとなっています。7月20日に総会が開かれ次のとおり決まりました。

前田 廣美さん(岩弘上東)
岩下 廣喜さん(下之馬場)
松留 立美さん(上山野)
永田 客藏さん(中園)
松留 和江さん(上山野)

なお、農業委員と推進委員の連携については、次のページをご覧ください。



大村 教男 さん(66歳)
(大塚原)



福岡みどり さん(64歳)
(馬越上)



木佐貫一孝 さん(64歳)
(池之原下西)



豎山 秋敏 さん(68歳)
(岩弘中)

農業委員の任期

平成29年
7月20日から
平成32年
7月19日まで
(3年間)



谷口 憲三 さん(67歳)
(新町中)



久保田義春 さん(74歳)
(溜水中)



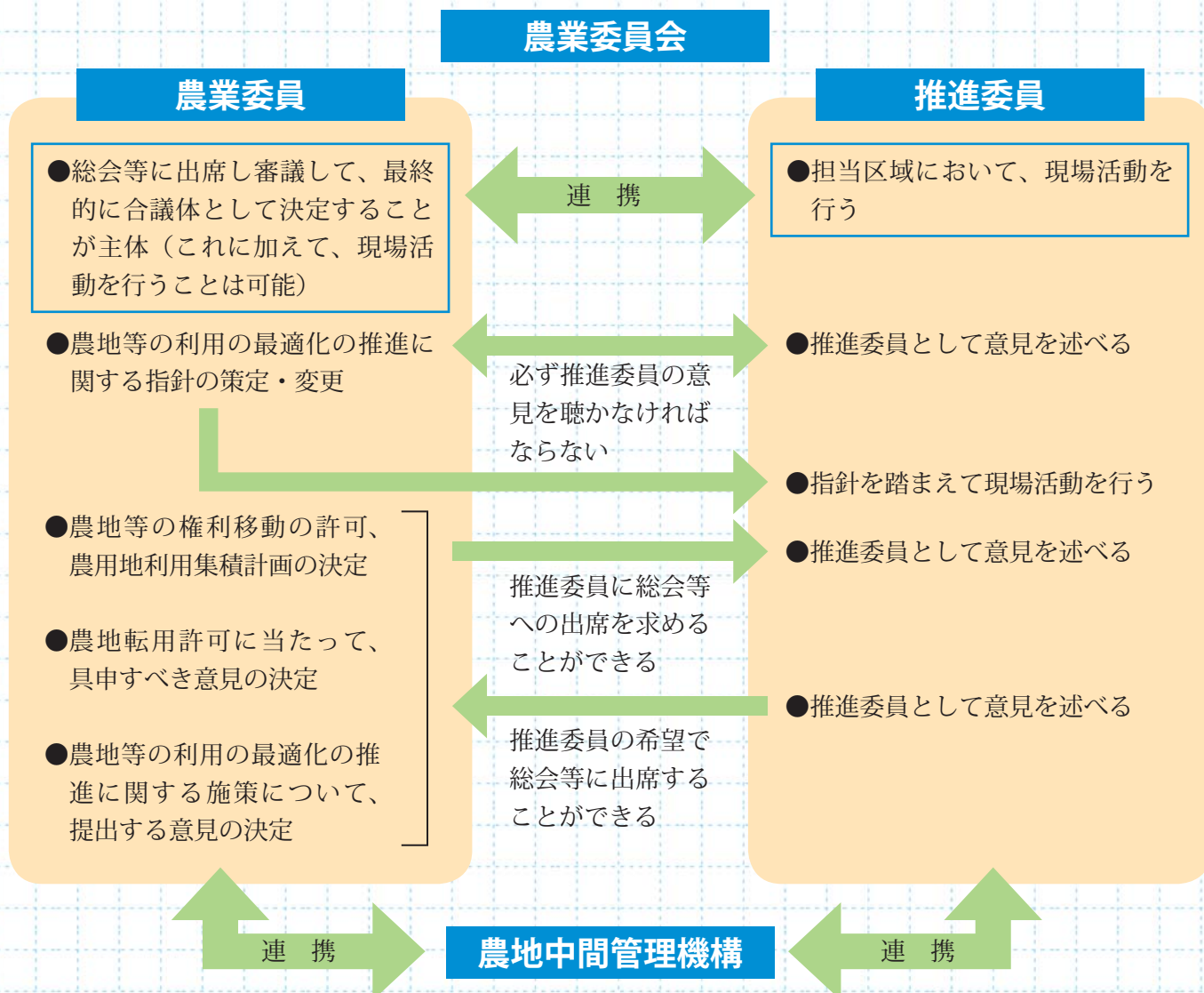
鶴丸 千尋 さん(64歳)
(大塚原)

平成29年
6月議会

農業委員会委員



農業委員と農地利用最適化推進委員（通称：推進委員）の連携



平成 29 年度補正予算 (単位：千円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の総額	主な内容 (歳出)
一般会計	9964 万円	46 億 967 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券発行補助金 ・円山公園内施設の屋根改修工事 ・バスケットボール大会補助金 ・防災センター工事費と器具等購入 ・池之原小学校エアコン修理 ・柏原小学校トイレ改修工事
介護保険会計 (保険事業勘定)	4750 万円	9 億 9850 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実績による返還金 ・一般会計繰出金
介護保険会計 (サービス事業勘定)	8 万円	411 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援システム改修負担金
後期高齢者医療会計	15 万円	9104 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料還付金

補正
予算

一般会計外3特別会計を、すべて原案のとおり可決しました。補正額や予算の質疑等については、次のとおりです。

予算の質疑

- 問** ルーピン畑の調査研究委託について
- 答** ルーピンの生育について、鹿児島大学と土壌や種子等を調査研究予定。
- 問** パート賃金の引き上げの内容は？
- 答** 一般的な事務のパート賃金を時給760円とした。(昨年度比20円増)
- 問** 労災保険料の掛け金は？事業の種類により保険料率が異なる。
- 問** 奨学金給付制への教育委員会への議論の状況は？前向きに検討中。
- 問** 防災センターを多目的に利用できないか
- 答** 防災教育や集会施設としても利用の調整を考える。
- 問** 防災関連の予算が大きい。町内業者に仕事を割り振ることはできないか
- 答** 防災関連では、6本の工事発注形態をとる予定。

陳情

- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について
- ▼陳情者 小蓬原昭雄(新川西4995-11)
- ▼審査結果 全会一致で採択国の関係機関へ意見書提出。
- 〈意見書の主な内容〉
1. 子どもたちの教育環境改善、教職員の長時間労働改善のために計画的な教職員定数改善を推進すること。
 2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

意見書とは：地方公共団体の公益に関する事件に關し、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書のこと。地方自治法の規定に基づき、国会又は関係行政庁に提出することができま。

第2回臨時会

平成29年第2回臨時会は、5月1日の1日間の会期で開きました。この臨時会では、条例や予算に係る専決処分承認4件を承認しました。また、財産の取得に關する3議案を全会一致で可決しました。

町が建物等を買取りで合意

にぎやかタウン雪山(定住促進住宅用地)の地盤沈下の問題において、町が住宅を買取り取ることで3件の住民が合意しました。今後、町が取得した建物は貸付用財産として管理されます。



住民との合意解決が具体化してきた(にぎやかタウン雪山)

臨時会・6月議会

議案等に対する 議員の賛否状況

採決とは、議長が議案等について出席議員に賛否の意思表示を求め、それを集計することを言います。

表決とは、議員が議長の採決に応じて、賛成・反対の意思表示をし、議会の意思決定に参加することを言います。表決には、起立によるもの、投票によるもの、異議の有無の確認のみを諮る簡易採決の方法があります。

※過半数で議決すべき場合には、議長には表決権がありません。

	議案等の 番号	件 名	賛否の意思表示									議決結果	
			児 玉	瀬 戸 山	牧 原	西 園	泊	前 田	上 園	原 田	宮 地		田 之 畑
臨時 会	承認第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（東申良町税 条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承 認
	承認第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 28 年 度東申良町一般会計補正予算（第 12 号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承 認
	承認第 4 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 28 年 度東申良町国民健康保険特別会計補正予算（第 5 号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承 認
	承認第 5 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 28 年 度東申良町簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承 認
	議案第 20 号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	議案第 21 号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
	議案第 22 号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決
6 月 議 会	承認第 6 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年 度東申良町一般会計補正予算（第 1 号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承 認
	同意第 2 号	農業委員会委員の任命（堅山秋敏氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 3 号	農業委員会委員の任命（木佐貫一孝氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 4 号	農業委員会委員の任命（福岡みどり氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 5 号	農業委員会委員の任命（大村教男氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 6 号	農業委員会委員の任命（鶴丸千尋氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 7 号	農業委員会委員の任命（久保田義春氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	同意第 8 号	農業委員会委員の任命（谷口憲三氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同 意
	議案第 23 号	東申良町使用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
	議案第 24 号	平成 29 年度東申良町一般会計補正予算（第 2 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決
議案第 25 号	平成 29 年度東申良町介護保険事業（保険事業勘定） 特別会計予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案第 26 号	平成 29 年度東申良町介護保険事業（サービス事業 勘定）特別会計予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
議案第 27 号	平成 29 年度東申良町後期高齢者医療特別会計補正 予算（第 1 号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
陳情第 19 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2018 年度政府 予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択	
発委第 1 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2018 年度政府 予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	

一般質問

町政を問う

5 議員が登壇

※内容は要約してあります。詳細は会議録（設置案内 P. 9に掲載）をご覧ください。



津波を想定した対策を望む（志布志石油備蓄基地）

Q 石油備蓄基地の津波対策は？

A 国の検討会が発足し対策が開始されている



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山 東串良にある石油備蓄基地建設にあたっては、津波のことは想定していないという。実際、北護岸と西護岸には防波堤はない。もし、東日本大震災級の津波がやってきたら、本町の備蓄基地は大丈夫かと地元の方々に不安の声が聞かれる。町長はどのような防災意識を持っているか。

町長 総務省、消防庁では、東日本大震災を踏

まえた「危険物施設等の地震・津波対策のあり方に係る検討会」を発足し、全国の石油コンビナート施設を含む危険物施設地震・津波対策を開始している。

志布志国家石油備蓄基地も、石油タンクの耐震性及び関連施設の耐震補強工事を実施し、津波シミュレーションに基づく津波対策工事を順次行う予定である。

Q 地方創生は農工商連携が図られているか

A 勉強会や農業者と企業者との出会いの場を催したい

瀬戸山 5月11日、テレビでよく拝見する元鳥取県知事の片山善博氏の議員セミナーがあった。

衝撃的だったのは、全国各地で取り組む地方創生事業のほとんどが、立ち往生し行き詰まっているというところがあった。ここで立ち止まり中央政府からの意向だけで動くのではなく、地方自らが地域の実情に合った地方創生を発信していくべきではと述べら

れた。

具体的には、まず足元を見つめると言うこと。ここ東串良の経済の実態を分析し、物とお金の流れを活性化する。農業で立つ町なので農畜産物の農工商連携で、そのシステム作りが急務と思われるが、どう考えているのか尋ねる。

町長 農工商連携に関する勉強会や、農業者と中小企業者との出会いの場となるマッチングイベントや商談会などを催したい。

Q 農工商連携に文化事業をリンクできないか

A 柏原大相撲で活性化に貢献できると考える

瀬戸山 この連携に、文化事業も追加しリンクさせることはできないか尋ねる。

町長 柏原の大相撲を盛り上げたい。相撲場周辺の追加整備と併せて、少年相撲教室が開ける環境づくりも予定している。柏原の活性化に貢献できるのではと考えている。そして、肝付町、大崎町と地域連携し唐仁古墳群の知名度アップを図りたい。



Q 教室にクーラーを 設置できないか



A 設置したいが 財源が厳しい



牧原 完治 議員

牧原 地球温暖化で真夏日

が続く気候となったが、児童生徒の健康を守り、また、勉学に集中させるためにも、各学校の教室にクーラー設置が必要と思うがどうか。

教育長

昨年の夏は暑い日が続き、子供たちもそんな中で本当によく頑張ってくれたと思う。今年も5月から暑い日が多く、この夏が思いやられるところである。

こうした中、子どもたちの健康面は気になるところであり、学習への集中力も精神論だけでは解決できない状況にあると理解している。

各学校の教室の現状は、昨年から1クラス6台を基準に扇風機を取り付け、今年6月で設置終了の予定である。

できることなら、クーラーが設置にこしたことはないと考え

には中沖小学校に、その後は2、3校ずつ設置していこうかという話である。そこで、教育長が心配している財源問題であるが、大崎町では文科省の補助金を利用して。また、環境省の温暖化対策事業の補助金もあるそうである。本町もこのよう

な補助金の活用はできないか。**教育長** 今後はもちろんそういうのを利用しながらしていくしかないかなと思う。しかし、その前にまだ校内LANの設置に係る補助金が完全にオーケーが出ていない状態である。

Q クーラー設置にふるさと納税を活用できないかと納税を促すようにお願いする

牧原 財源確保について町長に尋ねるが、学校教室へのクーラー設置は教育長も必要と理解されている。

そこで、ふるさと納税を使わせてもらえないかというお願いである。各自治体のふるさと納税の使い方の上位ランクをみると、子ども支援が一番多いようである。

本町もこのふるさと納税で各学校のクーラー設置を考えたらどうか。

町長 今、ふるさと納税は基金に積み立てているが、やがてそういう形で使えるようになれば使いたいと思う。今年目標は3億円ぐらいであるが、トップセールスを生かして徐々に納税額を増やしていきたい。

牧原 徐々にじゃなくて、トップギアでお願いする。また、今年も暑い日が続くことが予想されるが、子どもたちが熱中症で事故のないことを願っている。



健康を守り学習意欲のためにも教室へのクーラー設置を望む

石油貯蔵施設立地対策等交付金の推移

年度	【歳入】	【主な用途】
27	97,065,000 円	町道整備、防火水槽 LED 防犯灯、消防団活動服
28	96,925,000 円	町道整備、防火水槽 LED 防犯灯、東屋建設
29	96,900,000 円	町道整備、防火水槽 消防団活動車輛、東屋建設

石油貯蔵施設立地 交付金の見直しは？ 同額程度と 見込んでいる



宮地 利雄 議員

宮地 エネルギーの石油への依存度が7割から4割台へと減少しているが、今後も石油備蓄施設立地交付金は、これまでと同様に継続するかと考

えているか。

町長 現在のところ、貯蔵量に大きな変動もなく交付金額については、ほぼ同額程度で推移するものと思っている。

Q 交付金の使途範囲拡大への取り組みと現状は？

A 資源エネルギー庁へ要望活動をしている

宮地 使途の範囲について、何にでも使えるよう関係部署に働きかけるべきと思うが、これまでの取り組みと成果があるか尋ねる。

町長 毎年、資源エネルギー庁に対して、交付金の増額や自主的・弾力的な活用ができるよう、石油備蓄基地市町村連絡協議会として要望している。

Q 住宅リフォーム助成制度を本町で実施する考えは？

A 他の住宅関連の補助金があるので、今後検討したい

宮地 住宅リフォーム助成制度の創設を求める。

これは、空き家リフォームとちがって持家のリフォームへの助成制度である。この制度の特徴は波及効果が極めて高いことである。

近隣市町の例を示すと、鹿屋市では4951万円の助成で工事の請負額は4億313万円となっており、約10倍の効果が出ている。同様に志布志市は1000万円の

助成で1億2000万円の請負額となっており、12倍の効果である。

1件当たりの助成額の上限は10万円から20万円であり、波及効果の大きさを考えると大工や左官、工務店の仕事確保にも貢献できる。

正月やお盆、結婚や出産、年忌の機会などに住宅のリフォームを考える町民も多いと思うが、本町としても実施する考えはないか。

町長 確かに他市町村での住宅リフォーム助成制度は広がりを見せている。

しかし、本町では今年度から住宅に関するものだけでも移住促進事業、空き家改修事業、危険空き家解体事業などに補助金を支出しており、これらの新たな制度の実績・活用状況を踏まえて検討していきたい。

Q 文化系シンポジウムの規模と周知方法は？

A 集客240人規模、チラシ・ポスター・ラジオ活用

宮地 6月に本町で開催予

定のシンポジウム「甦る大隅国の実像」の内容については町のホームページで知ったが、参加者の規模、ネット以外の周知方法はどんな手立てをとっているか。

教育長 昨年の鹿屋市での開催では250人程度と聞いている。本町でも240人の席を準備する。内容は、8人の専門の方々が研究調査されている内容を発表していただく。

ネット以外の周知方法としては、町内全戸へのチラシ配布や町内各施設へのポスターの掲示、FMきもつきでも放送の予定である。

宮地 11月開催のシンポジウムについてはいかがか。

教育長 11月は本町主催なので、午前中は子どもを中心に、午後は専門の方々にお願います。(大塚古墳を初め唐仁古墳群の概略等は) 現在わかっている内容についての発表もあるのではと考えている。



キッチン、お風呂、トイレのリフォームはニーズが多いと思う



健診受付会場の様子（保健センター）



腹部超音波健診や循環器健診、胃検診ができる

西園 本町は、国保税が高いという町民の声がある。高齢化はこの町も同じであり、我が町だけが高齢化が進んでいる状況ではない。国保税の構成は、所得割、資産割、均等割、平等割の4本柱となっているが、特に平等割が近隣の市町村で一番高い。平均が2万8000円であるが、我が町は3万7000円である。

西園 制度に基づいた辞令の交付がなされていなくて、一部の職員だけが頑張っている状況である。町長は勤めたことがないからわからないかもしれないが、トップに立つ者は常に目配り、気配りをしながらいろんな状況を把握して、リーダーシップを発揮するように願いたい。

町長 職員の配置は適正にしている。

会議録の設置



定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。また、町のホームページでも見ることができます。



【東串良町HP】

☆役場1階ロビー本棚 ☆福祉センター
☆総合センター ……是非、ご覧ください。

Q 国保税を下げる工夫をしたか A 農業所得が高いことも要因



西園 貞美 議員

西園 国民健康保険税を下げる工夫をしたか尋ねる。
町長 国保税制度は、加入者に高齢者を多く抱えてい

る。医療費が高くなる一方で、所得水準が低いといった構造的な問題が根底にあり、国保税の増収を図ることは全国的

にも困難な状況となっている。本町の国保税が高いのは、被保険者1人当たりの所得が県内断トツである。畜産における子牛の高騰相場や、ピーマン、キュウリを中心とする施設園芸農家の所得が高くなっていることが要因ではないかと思われる。

また、高齢者の医療費が特に多い。65歳から69歳が48万9千円、70歳から74歳が60万円。年間1人当たりの医療費は、平均が36万1千円である。

国保税を下げるには、徹底した健診を受けさせることだと思う。それには、職員の体制づくりからだと思っている。平成12年度から介護保険制度が導入されたが、制度に基づいた職員の辞令交付がなされていないという状況のために、一部の職員だけが一生懸命頑張って苦勞している状況である。その状況を町長は知っているか。

Q 備蓄基地の津波等の模擬映像を見たか？

A 見てはいない



児玉 勇治 議員

Q 自主防災組織の活動をどう考えているか？

A 日頃の訓練や地域コミュニティを活発に行いたい

Q 津波等の災害に対しての自主防災組織の活動について尋ねる。過去10年間で柏原地区の津波訓練は2回であるが、この回数をどう考えているか。

A 回数については認識不足であるが、地域が役割分担しながら力と心を合わせ助け合うことを目的とした自主防災組織が、現在78振興会で結成されている。

A 大規模災害が発生した場合、組織の協力が必要となるため日頃の訓練や地域コミュニティや防災への取り組み等を活発に行いたい。

児玉 志布志国家備蓄基地の防潮堤とタンクの強度についてであるが、石油備蓄基地では、地震・津波に対応するシミュレーションの映像があるとのことだが、町長はそれを見たことがあるか。

町長 シミュレーションは見てはいない。

児玉 シミュレーションによると石油備蓄基地は、南海トラフの津波に対応できる防潮堤の高さで、タンクの破損も生じないとのことであった。

しかし、東日本大震災の時は想定外の津波が発生した。心配すればきりはないが石油備蓄基地がある以上、不備な箇所があればそのつど国へ要望し改善してもらい、住民が日々安心して暮らせるようにして欲しい。

東部消防署と連携して、津波を想定した避難訓練を望む

(川治いの地域：柏原～豊栄)



避難訓練の様子

Q 地区ごとに災害弱者を把握しているか

A 365名がリストに登録されている

Q 災害弱者を津波等の災害からどのように守るかについて尋ねる。先日、東部消防署で在宅高齢者台帳を閲覧したところ更新がなされてなく参考にならなかった。

A そこで、本町にはどのくらいの災害弱者がいるか把握しているか。

町長 365名が要配慮者リストに登録され、消防団で担当地区ごとの対象者を救助する計画がなされている。

Q 365名が要配慮者リストに登録され、消防団で担当地区ごとの対象者を救助する計画がなされている。

A 災害弱者について家族の了解を得て地図に赤マーク等で印を入れ、各分団に配布してはどうか。

町長 新川西・唐仁方面では大体把握し、年齢的に色分けした図上訓練をしている。他の分団にも進めていきたい。

町長 日頃の訓練なしに本番での成功はない。津波では行動20分、残り10分は避難である。大切な30分が生死を決める。このことを念頭に置き、災害時に災害弱者の被害がないことを強く要望する。

定例会及び委員会等、町内行事への出席状況

(備考：○…出席 ×…欠席 △…同日複数会議で1会議に出席 遅…遅刻 早…早退 他…他の公務 -…該当なし)

日付	会議・行事等	児玉 勇治	瀬戸山 謙一	牧原 完治	西園 貞美	泊 重巳	前田 隆	上園 ミキ	原田 猛	宮地 利雄	田之畑 稔
5/1	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/10-11	県議長会議員研修会及び郡議長会全議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
5/14	柏原大相撲	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○
5/17	第13回東串良ルーピングラウンド・ゴルフ大会	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○
5/19	各常任委員会、特別委員会（防災減災、地方創生、議会活性化）	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
5/23	特別委員会（にぎやか雪山）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5/28	東串良町総合防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
5/29	議会運営委員会	-	○	○	-	-	○	○	○	-	○
6/5	議会運営委員会、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	遅	○	○
6/8	東串良町国保運営協議会	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-
6/9	第2回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/10	第40回グラウンド・ゴルフ大会	-	○	-	-	-	○	○	○	-	○
6/12	全員協議会	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
6/13	教育産業常任委員会	○	-	○	-	-	○	○	-	-	○
6/14	第2回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/15	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/19	特別委員会（防災・減災、地方創生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/20	第2回定例会本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/21	防災・減災特別委員会（山形県飯豊町議会の研修受入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6/28	須田先生を偲ぶ会	○	○	×	×	他	○	○	×	×	○
7/3	全員協議会、広報編集委員会	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
7/4	県議長会正副議長研修会	-	-	-	-	-	-	×	-	-	○
7/6-7	全国議長会町村議会広報クリニック	○	○	○	-	-	○	-	×	○	○
7/10	県議長会新・元議員研修会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/11	第3回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
7/14	防災・減災特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7/18-19	郡議長会正副議長・正副委員長・事務局職員研修会	-	○	○	○	-	○	○	○	-	○
7/28	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 議長の公務一覧 *

日付	用務	場所	備考
5/2	平成28年度肝属川改修促進連盟会決算に係る監査	東串良町役場	
5/10	鹿児島県町村議会議長会臨時総会	ウェルビューかごしま	
5/12	遺族会総会	東串良町役場	
5/16	大隅4市5町保健医療推進協議会総会	鹿屋市役所	
5/18	町老人クラブ連合会定期総会	東串良町高齢者福祉センター	
5/22	商工会総会	東串良町総合センター	総務民生委員長も出席
5/24	町ほ場整備推進協議会	東串良町役場	副議長も出席
5/30	大隅総合開発期成会総会等	さつき苑	教育産業委員長も一総会出席
5/31-6/2	全国議長会正副議長研修会、郡議長会正副議長視察研修	中野サンプラザ、八萬屋本舗他	副議長も出席
6/6	郡議長会定期総会	肝付町役場	
6/8	東串良町水稻航空防除連絡協議会総会	JA 東串良支所	
6/11	東串良ルーピン・少年団バレーボール大会	東串良町総合体育館	
6/20	第17回肝属地区体育大会結団式	東串良町総合体育館	
6/28	東串良町和牛振興会総会、肉用牛ヘルパー組合総会	JA 東串良支所	教育産業委員長も出席
7/2	第17回肝属地区体育大会の応援	肝付町体育館他	
7/21	町有機堆肥センター管理運営協議会 大隅地域市町議会議員協議会役員会	東串良町役場 鹿屋市役所	
7/24	大隅経済地域開発推進協議会定期総会	かのや大黒グランドホテル	

のレポート



兵庫県多可町の取り組み 滞在型市民農園で 交流人口を図る

1 調査日

平成29年4月15日

2 調査の概要

兵庫県多可町八千代地区は、昭和23年頃から村長が老人を敬うことを重点的に取り組んできたことが、県や国へ波及し9月15日の敬老の日の制定につながったことにより、敬老の日の発祥地としても有名な所でもある。

フロイデン八千代は、都市と農村の交流実践の一つとして平成3年から平成6年にかけて60区画が整備され、全国ではじめて誕生したコテージ付き貸し農園（滞在型市民農園）である。整備にあたっては、農村地域ふろさと生活圏整備事業、新山村振興農林漁業対策事業を活用した。そもそもの発想は町職員であり、当時の関係者がドイツへ研修に向きドイツの

「クラインガルデン」をモデルとした。オープン

は平成5年である。

施設概要

総敷地面積

35000㎡

建物

*滞在施設60棟（木造2階建「27・95㎡/棟」）
*管理棟1棟（木造平屋建「19・87㎡」）
*交流センター1棟（鉄骨造平屋建「321・84㎡」）
*野外ステージ1箇所

*野外ステージ1箇所



現地調査

1 区画の内容

敷地 約310㎡

滞在施設 木造2階建て、バス・トイレ・エアコン・キッチン・給湯器などを備えている。

農地等 農園、花木園・果樹園があり季節感あふれる農作物等を栽培することが出来る。

芝生広場 憩いの場として緑地空間がある。

駐車場 1台分あり。

付帯施設

*共同で利用できる農園がある。

*交流センター、野外ステージ、共同駐車場や都市と農村の交流の場として、ホール、談話室、味噌などが加工できる加工室がある。



農作業を楽しむ利用者

野外ステージでは、四季折々様々な催しが開催されている。

3年前から運営主体を集落民が担う

「フロイデン」とはドイツ語で「喜び」との意味があり、多可町はこの施設を整備するうえで17人の地主より10アール当たり年間20万円で310アールを借地した。

施設利用については、入会金は41万円で、年間の利用料金はおよそ28万円である。春は花、夏はホタル、秋は収穫祭、冬は来光登山と、農業体験の喜びと心身のリフレッシュができる環境や、大都市圏から1時間半の距離にあることから、現在全60区画が利用されている。調査当時は、施設内のあちこちで夫婦連れの利用者が楽しそうに農作業に汗を流していた。利用者は60歳代が主で阪神地区からが大半である。毎年12月に継続利用更新を行っているが、利用率の割合は2年契約が一番

多く、中には20年以上の方もいる。農作業の未経験者でも、農業改良普及所が指導してくれる環境にあった。

フロイデン八千代は、整備当時は行政指導のもと管理組合が運営を行っていたが、3年前に行政から株式会社運営主体に移行し、集落民が株主になっている。

3 調査を実施しての意見や感想、町への政策提言等

フロイデン八千代は、大都市圏より車で1〜2時間の位置にあり、休日に自然を満喫したいと考える都会に住む人のニーズにマッチした、地理的に大変恵まれている環境であると思われる。施設整備も役場職員の発想からスタートし、この発想を具体化した町長の決断と実行力に感銘する。

また、現在の運営については、行政からの補助頼みの運営ではなく、完全に行政から独立して地区集落民が株主になって取り組まれている。

地方創生特別委員会

大都市近郊の農村地域であり、都市圏の富裕層をターゲットにできたことから、こうした滞在型施設が成り立っていると思う。

同じような事業を本町で置き換えて考えた場合、地理的に厳しい面があると思うが、週末に菜園のできるオーナー制の田畑も考えられる。また、他に誇れる文化財や松林、海などの観光資源もあり、リフレッシュの小旅行や自然体験には本町も良いのではないかと思う。こうした有利な点を最大限に活用し、本町にしかないもの、できないものを発掘・整備し、広く情報発信に努めるべきである。



絵画のような風光（フロイデン八千代）

来場者3万人超

関西かごしまファンデー



人気の高いピーマン、きゅうり

1 調査日

平成29年4月16日

2 調査の概要

京セラドームを貸し切り鹿児島島の物産を紹介、そして販売するこのイベントが来場者3万人を毎回超えることに改めて驚かされる。鹿児島島の物産が注目されるその認知度が高まってきている。今回本町からは、まえだ家、村山製油、東串良園芸振興会、東串良物産館の4団体が参加した。4団体とも好評な売れ行



試食をすすめながらの販売促進

きで、特にピーマン、キュウリは即完売であった。

3 調査を実施しての意見や感想、町への政策提言等

●他町村は規模、取り組みに積極性が感じられた。本町も企画課、経済課、JA、商工会が話し合い前向きになるべきではないか。
●また、ピーマンやキュウリなどを含む詰め合わせをセットで販売したらどうだろうか。
●会場での本町パンフ



3万人超の会場（京セラドーム）

レット配布は効果的であった。今後は、このファンデーをふるさと納税につなげるべきである。

●町名の入った手提げ袋も宣伝効果があるので、導入を検討すべきである。

本町の出店団体の声

■ファンデー参加は相当の経費がかかる。赤字覚悟でないとは参加できない。
■東串良町の良いところ、良いものを多くの人に知ってもらいたい気概でやっている。
■売り場が狭いと思う。
■品物へのファンを増やしギフトへの展開を図りたい。



議長 田之畑 稔

平和啓発の語り部として期待します

英霊の顕彰と遺族の相互扶助・

福祉増進に努めます



東串良町遺族会
会長 瀬戸口 吉至さん



このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

議長 今年の夏も猛暑の下に、戦後72年の終戦記念日を迎えます。

今回は、大東亜戦争の戦没者遺族の団体である「東串良町遺族会」の瀬戸口吉至会長に話を伺います。

議長 遺族会の趣旨・目的について伺います。

瀬戸口 私たち遺族会は、英霊の顕彰及び戦没者遺族の相互扶助・福祉増進並びに遺族救済の道を推進しています。

さらに、道義の昂揚・品性の涵養に努め、もって新しい日本の建設に貢献することを目的としています。

議長 遺族会の会員と活動状況について伺います。

瀬戸口 東串良町遺族会は、現在140名の会員で組織し、会長、副会長、理事、監

事、連絡員等の役割分担のもとに、会員の相互扶助による福祉の増進に努めています。

事業活動については、英霊の顕彰及び慰霊に関する事業、遺族の処遇向上に関する事業、遺族の生活及び身上相談に関する事業、遺族の精神文化の向上及び社会道義の昂揚に資する事業、遺族の厚生福利に関する事業、遺児の育成・補導に関する事業、遺族の特別功労者の表彰、日本遺族会及び県遺族会の決裁事項を遵守し、事業の推進を図ることなどです。

議長 遺族会の組織運営について伺います。

瀬戸口 私たち遺族会の運営は、会員の会費と町の補助金3万8千円を主たる収入財源として運営しています。

本年度は、英霊の顕彰を主に、町慰霊碑の清掃美化作業

や町並び県の戦没者追悼式への協力及び処遇改善運動を推進します。

また、遺児の友好親善事業及び遺骨収集事業の推進、次世代後継者「孫・曾孫の会」青年部の組織化の推進などに取り組むことにしています。

議長 過去の忌まわしい戦争の犠牲となられた遺族の皆様的心情は察するに余りあるものがありますが、瀬戸口会長の心情を伺います。

瀬戸口 戦後72年が経過して、戦争を知らない世代が七割を超える今日において、戦争の悲惨さが風化されることを懸念します。

戦争において父親や家族を亡くした遺族の苦勞は筆舌に尽くせないものであり、生活苦はもとより子供の教育と成長に大きな影を残しました。

戦争はあつてはならない人類の暴挙です。私たち遺族会は、今後とも英霊の顕彰と慰霊に努めつつ平和のありがたさを啓発して参りたいと考えます。

議長 平和の語り部として、遺族会の皆様のご健勝とご活躍を祈念致します。

議会災害対策本部について視察

いいで
- 山形県飯豊町議会が研修に訪れる -



去る6月21日、山形県飯豊町議会の10名が、本町議会に視察研修に訪れました。

当日は、田之畑稔議長をはじめ、防災・減災特別委員会（泊 重巳委員長 他8名の委員）で対応しました。

「議会災害対策本部設置要綱について」を研修議題に、お互いの町での活動を紹介しながら活発な意見交換を行いました。

お互いに学び合う有益な研修となりました。



議会を傍聴してみませんか😊

町政を知る良い機会ですのでぜひお越しください♪

**9月議会は
12日からの
開会予定です**

👉 ~手続き~
傍聴人名簿に氏名と年齢を記入するだけです！



※本会議については防災無線でお知らせします。

町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。



★巡回 11 回目★
平成 29 年 5 月 8 日
巡回地 上山野地区
池之原地区



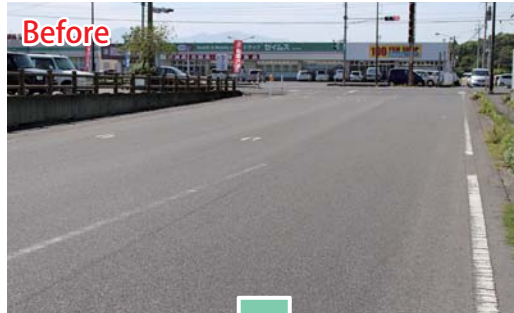
▲水はけが悪い田畑。砂採取が原因か？
(上山野地区)



▲交差点の電柱。見通しが悪いので移設を望む。
(池之原下区)



Before



Before

▲車線がわからない (池之原・物産館付近)



After



After

▲改善を要望し、車線が見やすくなった

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。
【連絡先】東串良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

議員派遣報告

地方創生 成功の 方程式を学ぶ



報告者 瀬戸山 譲一

- ◆研修日 平成29年5月12日
- ◆研修場所 沖縄県那覇市・恩納村

繁栄するまちはなにが
ちがうのか？

地方創生が叫ばれる中、独自の視点から地方の活性化に臨む地域が紹介され、補助金等だけに頼らない自立できるシステム作りを示された。

ややもすると地方創生は外部からの資金、施策に目が行きがちだ。そうではなく域内にある企業や団体をいかに異種連携させ相乗効果を醸成させるかに主眼点を置くかがセミナーの1つのポイントであった。

東串良でも農水産業と地域の商業のコラボを模索すべきだと提言したい。

そして「スピーディさ」。事業計画はスピーディに行わないとすぐにぐらついてしまう。今回の講師は、政策立案、準備に半年、7か月後には事業取り組みが見られなければならないという持論を持っている。公共団体の事業のスピード化もこれからの大きなテーマである。

教育をテーマに事業展開
沖縄科学技術大学を研修

地理的不利などで地域活性化の焦点をなかなか絞れないでいる状況から、もとの要らない地域連携のテーマに教育をあげたらどうかという構想を私は考えている。その端緒をこの大学を選び地方活性化にどのような恩恵をもたらすか調べた。今後、逐次、政策提言を行う。

議員全員で消火器と地上消火栓を訓練



訓練用の消火器を使っての消火訓練

7月14日、肝属東部消防署の指導のもと、柏原地区の農村環境改善センター近くの松林内で、訓練を行いました。

火事の際は、大きな声で「火事だ」と叫び知らせることや消火器の扱いを訓練しました。

また、地上消火栓のホースの連結方法や放水の合図など、操作法のポイントを学びました。



消防署職員による手本



ホースを運び出す訓練



消火活動は二人組が基本



心肺蘇生と AED を用いた連携の訓練

AED操作と心肺蘇生法を訓練

同日、保健センターで心肺蘇生法等を学び、1分間に100回ペースの胸部圧迫の訓練は、想像以上の体力とエネルギーを必要としました。

「あなたに救える命がある」との消防署職員のメッセージが印象的でした。



心肺蘇生は、救急隊の到着まで切れ間なく続ける



AED の操作は音声ガイダンスに従ってすれば大丈夫



意識の有無を確認する訓練



「除」
背景はきれいさっぱりとした色がよかったです。青色に近い色にしました。「除」から掃除という意味を伝えようと思いました。「除」とバケツが一体となるように工夫しました。誰が見ても掃除が行われるように学校の定番の掃除道具を組み合わせました。

中学2年 瀬戸山 光里さん



「奏」
楽器が奏でるきれいで、いやされるような音をイメージして青色にしました。私は吹奏楽部に入っているというのがあるので、楽器を知ってほしいと思って様々な楽器を描きました。そして、黄色で楽器の音を表現しました。楽器のイメージでもある「きれい」「かっこいい」を青色で、音のイメージである「華やかさ」を黄色で表現し、全体的に楽器をイメージして描きました。

中学2年 田原 京香さん



「舟」
舟台という漢字をかき直した舟をかいたり魚をいれているのをイメージしてかきました。背景は海をかいたり空やカモメをかいたりしました。

中学2年 濱田 偉吹さん

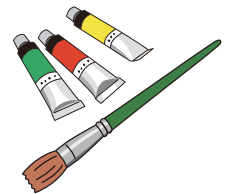


「医」
背景は、黄緑色にしました。医者というのは「優しい」というイメージがあったのでこの色にしました。この「医」という字は「医者」や「医院」という意味だと思ったので、医療器具などの絵で意味を表現しました。

中学2年 田畑 日菜さん

おたよりのコーナー

中学生の作品です。漢字から発想されたユーモアな感性がうまく表現されています。★★★★



議会だよりに投稿しませんか

例えば

1. この町に住んで感じること(400字程度)
2. 議会を傍聴して(感想等)
3. 将来の夢(400字程度)
4. 東串良町の未来図(図画)
5. 自慢のワンショット写真
6. イラスト・・・など

【応募方法】

東串良町議会事務局まで郵送またはメールで応募してください。(持参可)

なお、応募者は次の事項を必ず記入してください。

住所、氏名、年齢(学校名と学年)、電話番号、匿名

希望者はペンネーム

【応募先】

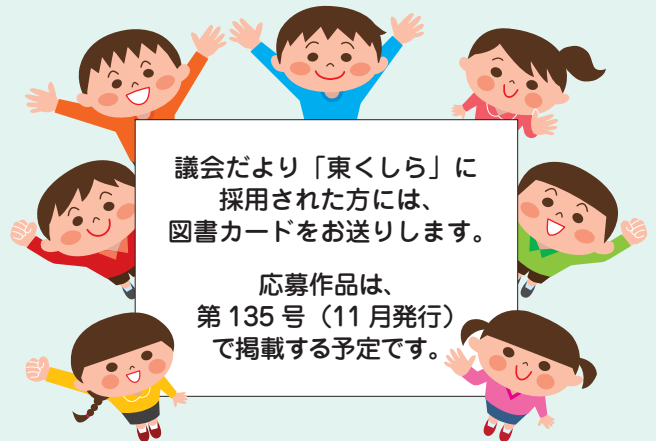
〒893-1693 東串良町川西 1543 番地

東串良町議会事務局

メールアドレス: gikai@higashikushira.com

【しめきり】平成29年10月13日必着

【注意】作品の返品はいたしません。



まち探検!

初めての議場見学

6月15日、池之原小学校3年生（児童27人）が社会科学の学習のために役場を見学に来ました。

初めて議場に入った子ども達は、とても楽しそうでした。「好きなのところに座っていいよ」の声に、一番人気は議長席でした。一番高いところに位置し、全体を眺められます。

子ども達からの質問もあり、「役場には1日何人きますか?」「どのくらいの大きさですか?」「ここで何をしますか?」等々。

将来の「町長や議長」がこの中から誕生するかも。楽しみです!



元気いっぱい。笑顔がGOOD! 池小の3年生。



一番人気の議長席。



このマイクで話してごらん



このボタンをおしてみようかな



えーっと。ただいま考え中。



ここからのながめ、ワクワクするね!



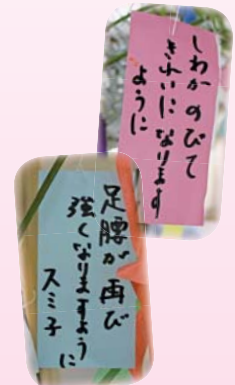
教育産業委員長の前田議員の話を熱心にきいています



童謡を歌いながら、ゆっくり運動します。(ころばん体操)



七夕飾りは、毎年の恒例行事です。みんなでおしゃべりしながら、楽しいです。



こじやっこ



体操中も、経過を記録します。

よかどう



体操の前に、お互いに血圧を測定します。

「老人クラブ活動」と「ころばん体操」で地域の絆

7月5日、溜水地区の地域女性が集まって七夕作りところばん体操で交流を図っていました。

ワイワイと楽しい雰囲気、地域の絆が深まることと継続の秘訣は、「笑顔」だなと感じました。

輪和話のひろば

vol.16

このコーナーは、町内のあちろちろの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。



「ひっくら翔輝会」の皆さん



イベントに参加して会場を盛り上げます

よきこいソニーランで仲間づくり「ひっくら翔輝会」

7月9日の日曜日、池之原小学校の体育館でひっくら翔輝会の練習があるということで訪ねてみました。今日から、オリジナルの曲と独自の振り付けによる演舞の練習が始まったそうです。そろいのユニフォームが、よきこいソニーランのテンポの良い曲に合わせて飛び跳ね、鳴子が調子よく鳴ります。

代表の仮重ともこさんに話を聞きました。

2年前から元気と健康づくりのために始めました。小学生、中学生、高校生、社会人と異年齢集団で、みんな仲良く楽しんでいきます。これまでにルーピン祭りや文化祭、ぎおん祭などのイベントに参加しました。オリジナル曲と振り付けが完成した際には、多くのおみなさんに見てほしいです。

また「よきこいは踊れないけど見るのは大好き」というみなさんに「ひっくら翔輝会応援隊」に入ってくださいたいです。五百円で、キーホルダー付きです。多くの方々にご協力いただきたいです。

取材を終えて

練習風景を見ているだけで、なんとなく心が浮き立つような気分でした。みんな一生懸命、新しい曲と振り付けをマスターしようという思いが伝わってきました。

取材者 宮地 利雄

表紙の案内

5年に一度開催される、全国和牛能力共進会（略称：全共）が今年9月に宮城県仙台市で開催されます。その出場を懸けた鹿児島県代表牛を決定する審査会が始まっています。

表紙の中学生は、岩弘地区在住の前田龍馬さんです。毎日、牛の手入れや調教に励み、大好きな牛との出場に夢を膨らませています。県代表牛になれるよう応援しています。（撮影日：H29.7.20）



▲前田龍馬さん（中学3年）

▶郡共進会の検査で、牛を引いている様子(写真左15番)



編集後記

7月により良い「議会だより」作りを目指す目的で、広報編集委員のメンバーと、東京の研修会に参加して参りました。

町民の皆様に分かりやすく、読みやすい文章にするこの大切さを学びました。

研修の教訓を生かしながら、開かれた議会運営に取り組むために、「わかりやすい議会広報」にしたいと考えております。

議会に対する理解と関心を深めて頂き、町民の皆様により「議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せ頂ければ、ありがたいです。

児玉 勇治

▼広報編集委員会

編集委員長 宮地 利雄

編集副委員長 児玉 勇治

編集委員 瀬戸山 譲一

牧原 完治

前田 隆

原田 猛